

## 支部だより

2022/2/20 No.32 東京支部事務局

### 2022年の支部活動スタート

### 2021年活動報告

#### 1. 東京支部 2022 年定期総会報告

新型コロナ蔓延の中、東京支部 2022 年定期総会がリモートで開催されました。

- ・開催日時：2022 年 1 月 15 日（土）14:00～14:50
- ・会員総数 27 名（休会 2 名は対象外）、リモートによる出席者 14 名、委任状による出席者 13 名で会員の 1 / 3 以上の出席という成立条件を満足し、定期総会は有効に成立しました。
- ・定期総会では第 1 号議案：2021 年事業報告、第 2 号議案：会計収支報告並びに監査報告、第 3 号議案：会則・内規の一部改訂、第 4 号議案：次期役員、第 5 号議案：2022 年事業計画、第 6 号議案；予算計画の 6 議案がすべて満場一致にて了承されました。

#### 2. 新春講演会

総会終了後、リモートで 15:00 から 16:30 にかけてケンコー・トキナー広報・宣伝課の田原栄一氏より「PL・ND フィルターの上手な使い方」についての講演をしていただきました。

#### 3. 2021 年を振り返って

支部長就任にあたり、新型コロナ禍の中でなんとか支部活動をおこなうべく、リモートでの例会、役員会を行うことを試みしました。支部会員の皆様のご協力、一人一人との接続試験を経てリモートでの例会、役員会ができるようになりました。一部の方とは接続ができずご迷惑をおかけしましたが、今後は対策を考えます。結果として、定例研究会 4 回のうち、リモートで 3 回、会場で 1 回の実施ができました。

●特別研究会は、2 回の予定でしたが、1 回会場で実施でき、元気な皆さんに会えてほっとしました。例会も実施出来ない支部もあるなか、東京支部では、

何とか重要な支部活動の一つができたと思います。●第 19 回東京支部作品展ですが、11 月 26 日（金）～12 月 2 日（木）にかけて富士フォトギャラリー銀座にて予定通り実施できました。

作品展担当の藤野治雄さんの尽力のおかげで立派な作品展になり、また、補佐の野間芳子さんには DM・写真入り目録を作成していただきました。いずれも素晴らしい出来栄でした。コロナ禍にもかかわらず、多くのプロ写真家の方々にも来ていただきました。来場者は 510 人でコロナ禍の中では上々だとおもいます。作品展終了後の打ち上げは残念ながら中止としました。

●コロナ禍の中での撮影会ですが、担当の菅澤光裕さんが担当し、6 月に「東京の自然を求めて」＋「初夏の撮影会」を町田市の「薬師池公園」で、10 月に「秋の撮影会」を志賀高原で行いました。参加の皆さんには楽しんでいただけたと思います。

●東京支部の新しいホームページを作ることは山田智一さんが担当し、皆さんも御覧になっている大変立派なホームページができました。過去数年の東京支部作品展作品掲載、雑誌・公募写真展入選作品報告など内容が一杯です。高橋清さんの風景写真誌 100 回入選の作品紹介も掲載し、大変好評でした。

#### 4. 2022 年の東京支部活動計画

昨年末に一時沈静化した新型コロナですが、オミクロン株の影響で、感染が蔓延してきており、今年度も予断を許しません。

研究会、役員会はリモート、会場の両にらみで構えます。基本的には昨年度の方針の継続で、和気あいあいと楽しくやっていきたいと思えます。

●本年の重要実施項目は「東京支部 20 周年記念作品展」の開催です。

11 月 4 日～10 日にかけて、富士フォトギャラリー銀座のスペース 1, 2, 3 を使用して行います。支部会員の皆様には「日本の風景」&「東京の風景」の各 1 点を出していただく予定です。特に「東京の風景」については、あまり撮影をされていない方もあるかと思いますが、4 月と初夏に都内公園での日帰り撮影会を企画しますので、奮ってご参加ください。

●その他の予定

- ① 定例研究会、特別研究会を計画しています。  
年4回の定例研究会（講師：山口高志氏）  
3月12日、5月29日 or 7日、8月6日  
、12月3日、

### 年2回の特別研究会

7月9日（講師：萩原史郎氏）、10月8日計画中  
なお、定例研究会をリモートで行う場合、リモート対応ができない方とは別の方法を相談させていただきます。

### ② 支部撮影会

日帰り撮影会に加え、新型コロナの状況を見ながら6月中旬の初夏の撮影会（志賀高原）および秋の撮影会を企画予定です。

### ●新役員紹介

役員の一部が変更となりました。

研究会担当役員：与謝国平さん（新任）

作品展担当役員：藤野治雄さん（正←副）

広報担当役員（新設）：山田智一さん\*

\*山田智一さんから会社業務超多忙化につき休会の申し出がありました。後任は泉屋ゆり子さんをお願いしております。

●活動方針・計画の詳細については総会資料第5号議案をご参照ください。（文責 井上武夫）

## JNP東京支部20周年を迎えるにあたって

早いもので、今年は東京支部発足20周年を迎えようとしている。私と東京支部との関係は、田中達也先生（現指導会員）から、今度、日本風景写真協会と言う写真の団体が設立されるので、入会しないかとの誘いがきっかけで参加した。思い起こせば、東京支部は、20年前、確か蒲田周辺の会場で、設立総会が行われスタートしたと記憶する。

東京支部は、以下の3点を運営の基本に据え、年度計画をたて、メンバーが協力する中でいろいろな活動を行って来ている。

① 和気藹々、写真を通じた楽しい交流

② 双方向による撮影技術の研鑽

③ 自由な雰囲気、自由な交流が出来る支部運営

ここ数年のコロナ禍でもプロジェクター活用、リモートによる研究例会、さらに安全性を確保した撮影会、HPによる発信等新たな対策を取り入れながら

ほぼ計画通りの活動を進めている。20周年記念への対応については、「20周年を祝う」をテーマに、以下に示す一連のイベントを計画中である。

### ■20周年記念への一連のイベント

#### ●20周年記念作品展

富士フォトギャラリー銀座にて開催

大全紙による日本の風景 & 東京の風景の展示

#### ●20周年記念写真集

「20周年記念図録」の発行

#### ●東京支部20年の歩み

「東京支部設立からの歩み」の編集

#### ●東京の風景を対象とした撮影会

20周年記念作品展に向けた都内公園での日帰り撮影会開催

#### ●20周年記念を祝う会開催

「皆で20周年を祝う会」

ここ数年、風景写真を取り巻く環境にも変化（高齢化、写真技術革新、自然災害多発・・・等）が出て来ている。これに伴い写真に対する価値感、行動も変化してきている。このため、東京支部の運営も、この様な変化を先取りしながら対応して行く必要があると思われる。20周年を期に、会員の皆さんの撮影技術の向上を図りつつ、さらなる支部の発展に向け、風景写真を息長く、多くの人（若者、高齢者、移動のための車がある人・無い人）と一緒に楽しめる魅力ある支部の実現に向け、定例研究会、撮影会、作品展等の活動のあり方を再検討し、新たな挑戦をして行く必要があるかと思えます。

（文責：戸張眞）

## 私のお気に入り撮影地

私のお気に入りの撮影地は 満願寺&出流ふれあいの森です。

初めて行った場所なのに、何故か「ここには以前に来たことが・・・」と思うことがある。

栃木市出流町にあり、勝上上人が開山したお寺、満願寺の奥の院がそのような場所である。

本堂よりさらに奥に進むと、タイムスリップしたか

のような風景に出会える。

山からの水が、川になり、川には苔むした石が並び、俯き加減に咲く秋海棠の花々が至るところに咲き、出迎えてくれる。

ここは台風19号の土砂災害の為、参拝出来なかったのですが、工事を終え、再度参拝できるようになりました。改めて、豊かな自然界がいついつまでも続いてほしいと願ってしまいますね。

又、ここから数分のところに、出流ふれあい公園があって、夏休中の子供たちの声を背に川沿いにびっしりと咲く秋海棠の花の撮影ができます。

秋海棠の開花時期は毎年8月末から9月上旬です。



(文責 相場富江)

### 写友広場

2022年1月～2月の間には以下の方が入選入賞されました

■ 風景写真 1, 2月号 巻頭ギャラリー

冬の美術館 「冬のオブジェ」 高橋清

■ ペンタックスリコーファミリークラブ215号

冬号 チャレンジアップ賞 白鳥多彩 高橋清  
支部長がPFJ（日本写真家連盟）と交渉して下さって受賞作品を紹介できるようになりました。  
辰野清賞の藤野さんと銀賞の太田さんの作品をご紹介します。

「漸進秋波」 藤野治雄さん

JNP東京支部の撮影会で、長野県蓼科の大河原峠での撮影です。朝の日の出を狙った撮影でしたが、霧で思った様な情景が得られませんでした。

そこで、斜光で浮き上がった小さな幾重もの稜線の木立の列に狙いを置きました。

落葉した木立が波状に連続して、浮き上がってくれたのではないかと思います。

日本写真家連盟第10回公募展受賞作品 辰野清賞



(文責 藤野治雄)

「深秋のころ」 太田桃子さん

この作品は箱根の強羅公園で撮影しました。

このごろ遠くよりも足元に近い、被写体に魅せられております。

生き物、お花が気に掛かり、風景を背景に添える事に努力しています。難しいテクニックは使えませんので、自然体で撮影しています。

これからのテーマにしていきたいと思います。

日本写真家連盟 第10回公募展受賞作品 銀賞



(文責 太田桃子)

## 事務局より

新体制になって2年目となります。昨年は皆様の多大な協力のおかげで、なんとか1年を乗り切ることができました。

「支部だより」は担当の戸張伸子さんの尽力で、毎回素晴らしい出来栄でした。

本年もコロナの状況をにらみながらの支部活動になりますが、気を付けていきましょう。

昨年末、様々な事情により退会者が数名発生しました。

知人やいは撮影現場で出会った人などへの紹介・勧誘をお願いします。

### 今後の予定

- JNP 本部定時総会 3月6日(日) 縮小形
- 東京支部第1回定例研究会 3月12日(土)
- 東京支部第2回定例研究会  
5月29日(日) 或いは5月7日(土)
- 東京支部春の日帰り撮影会 日時未定
- 「四季のいろ」展(全員参加の写真集選抜展)  
東京展 6月3日(金)~6月9日(木) 富士フィルムフォトサロン東京  
東京支部当番 6月4日(土) 前半、後半、  
6月5日(日) 前半、後半  
(文責 井上武夫)

## 編集後記

暦の上では春ですが寒い毎日です。オミクロン株の終息がいつになるのか先の見えない日々が続きますがいかがお過ごしでしょうか？

ワクチン接種の3回目がすんだ方もいらっしゃると思います。ワクチン接種の推進と共に国産の治療薬が承認される予定なので、もうしばらくの辛抱になるとよいですね。

昨年秋の東京支部作品展の頃はちょうど感染者が減っていてよかったです。

さて新年にあたり、ご自分の作品でカレンダーを

作られた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今年はJNP名誉会長の山本一さんのカレンダーをいただく機会に恵まれました。

山本さんは東京支部の講師をお願いしたことがご縁でお付き合いをさせていただいています。

「風景にみる日本人のこころ」がタイトルで、写真集「いろこよみ」などの中から12か月の作品を選んでいきます。「いろこよみ」は二十四節季にそって季節の写真がでてきます。どれも素晴らしい作品です。

カレンダーには「春夏秋冬、四季の彩の変化に富んだ、こんな美しい国に生まれて幸せと思います。これからも美しき情景と出会えた自然の色を紡ぎ続けていきたいと思っています。」という1文が書かれています。

私も年をとったせいか、四季の風景や花の美しさをしみじみと感じるようになってきました。

日本には古来 二十四節気と七十二候があり、いにしえ人も季節の変化を愛でていました。

そんなDNAが日本人の感性の中には流れているのでしょね。

JNPはまさにそんな日本の自然の美しさに感動し、一期一会を撮影することがコンセプトです。異常気象による自然災害も増えていますが、いつまでも美しい日本の自然を残していきたいと願います。

それぞれの一期一会を大切にしてください素晴らしい作品を作りたいものです。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

(文責 戸張伸子)